

# 国語科学習指導案

平成 25 年 10 月 22 日 (火)  
学 級 1 年 A 組  
指 導 者 竹 治 哲 也  
展 開 場 所 1 年 A 組 教 室

1 単元名 (1 年) 「必要な情報をまとめよう」～暮らしと自然とのつながりについて～

## 2 単元の目標

- 他者の意見を参考にしながら、自分なりの表現を工夫しようとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 目的に合った情報を集め、必要に応じた情報を読み取ることができる。  
(読むこと カ)
- 聞き手にわかりやすく説明するために語句を選び、表現を豊かにすることができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ウ))

## 3 評価規準 (評価方法)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・他者の意見を参考にしながら、自分なりの表現を工夫しようとしている。	・本やインターネットを活用し、目的に応じた情報を集め、必要な部分を読み取っている。(カ)	・聞き手に説明するためにわかりやすい語句を選び、表現を豊かにする語彙を活用している。(イ(ウ))

## 4 単元について

### (1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、学習指導要領 第 1 学年「C 読むこと」の言語活動例ウに示されている「課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること」を踏まえ、「流水と私たちの暮らし」を学習したあとで、「自分たちの暮らしと自然にはどのようなつながりがあるのか」を、生徒ひとり一人が調べ、読み取ったものをまとめるという言語活動を行う。

教材は青田昌秋 (あおたまさあき)「流水と私たちの暮らし」(光村図書 国語 1) を扱う。近年よく取り上げられる環境問題には、地球温暖化やオゾン層の破壊などよく耳にするものもあるが、今回扱う「流水と私たちの暮らし」では、流水がいかに地球の資源を豊かにし、私たちの生活と密接につながっているかが述べられている。ややもすると、「過酷な環境」や「海面の上昇」など、マイナスのイメージが多い「流水」という単語が、本教材を学習することにより、身近に感じられ、私たちの住む日本のみならず、地球という規模において、とても重要な役割を担っていることを理解させたい。

また自分たちの生活と照らし合わせ、流水以外にもゴミ問題や河川の汚染など、私たちの暮らしと密接につながっている環境問題にも興味をもち、大切にしていくなめには何をすべきなのかをひとり一人が広い視野をもって考えられる学習の機会にしていきたい。

## (2) 単元で身につけさせたい力（国語力22との関連）

本単元の学習目標である、「文章の中心となる部分とそれを支える部分を読み分け、筆者の述べていることを読み取る」に示されているように、序論・本論・結論がわかりやすく述べられている説明的文章である。説明的文章は「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」で学習しているが、内容理解にとどまっているため、本単元では構成や展開の仕方など、文章を書く上で必要な決まりも踏まえながら理解させたい。また「流水と私たちの暮らし」では、内容をわかりやすくするために、図やグラフが使用されており、「C 読むこと」が中心となる言語活動ではあるが、「B 書くこと」の言語活動例イに示されている「図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと」も参考にしながら活動していきたい。本単元を学習後、各自で課題に沿った調べ学習をし、ひとり一人発表する予定である。そのために、文章を必要に応じて要約したり要旨をとらえたりできる力（第1学年 読むこと イ）や本や文章などから必要な情報を集め、目的に応じて読み取る力（第1学年 読むこと ウ）をつけさせたい。

そのために以下の内容を具体的な手立てとして指導していきたい。

- ①自分たちの暮らしと自然とのつながりを理解する。(20 関連づける)
- ②本やインターネットを使用し、発表する内容を調べる。(17 情報を吟味する)
- ③発表する内容を短く要約し、伝わりやすい工夫をする。(5 要約する)(9 図解表現する)
- ④それぞれが調べた事柄を発表し、評価し合う。(22 評価する)

## (3) 基盤となる言語環境や継続的な取組

読むことに関しては、第1学年の取り組みとして読書活動を継続的に行っている。

本校では朝読書の時間が設けられておらず、本や読書に対しての興味が薄く、落ち着いた時間を過ごす生徒が少ない。そこで第1学年の取り組みとして必ず一人一冊本を持参し、朝の短学活や給食の配膳前に落ち着いた時間を過ごすように指導している。また国語の時間の中で、図書館指導員に、読書や図書館の魅力について授業をしてもらったところ、今まで読書にあまり興味のなかった生徒も意欲的に学校図書館を利用するようになった。すると、夏季休業前に行った自由作文や詩の作成において、推敲しながら学習を進めていく生徒が多くなった。その中で他人の意見を聞いたり、評価し合うことで語彙力や表現力が豊かになっていく様子が見てとれた。本校の研究主題である「伝え合う力を伸ばし、自信を持って表現できる生徒の育成」が実現されるよう、授業だけにとどまらずあらゆる生活の中でコミュニケーション能力の育成を図っている。

## 5 生徒の実態（指導の経緯）

略

## 6 単元指導計画

時	学習内容と活動	指導や支援の手立て（◇は評価）
1	○学習の見通しをもつ。 ○流水について知っていることを挙げる。 ○本文を通読し、感想を述べる。	・学習のねらいと進め方について説明する。 ◇本文を通読することによって、流水が私たちの生活と無関係でないことを知る。 (読むこと)

2	<p>○本文の構成を考え、内容の理解に役立てる。</p> <p>○本文を大きく3つに分け、各段落に小見出しをつける。</p>	<p>・「序論・本論・結論」の3つがそれぞれどのような役割をもっているか説明する。</p> <p>◇各段落の役割を考え、文章の構成や展開の把握に役立てる。(読むこと)</p>
3 ↓ 6	<p>○今後の学習活動について改めて説明する。</p> <p>○「自分たちの暮らしと自然とのつながり」について調べたいテーマを決定する。</p> <p>○決定したテーマについて本やインターネットを活用し情報を集める。</p> <p>○集めた情報をまとめ、構成や図表の書き方を考える。</p>	<p>・テーマについて自由に挙げさせ、テーマ決定のためのヒントを与える。</p> <p>・情報集めの際、グラフや図は必要に応じて書き写しておくことを伝える。</p> <p>・集めた情報を見直し、「序論・本論・結論」に分け要約する。</p> <p>◇必要な情報を的確に集めるための方法を理解し、図表などとの関連を考えながら読んでいる。(読むこと)</p>
7 (本時)	<p>○テーマに沿ってまとめた原稿を3~4人グループで読み合い、アドバイスや改善点を記入し、評価し合う。</p> <p>○話し合っ出てきた改善点やアドバイスを参考にし、まとめた原稿を清書する。</p>	<p>・評価は①構成②内容③図や表④情報源の4観点とし、アドバイスや改善点が粗探しではなく、良い所を探し、事後の学習に役立てるものだと伝える。</p> <p>◇目的に応じて必要な材料を集め、お互いに情報交換し、自分の作成した文章の構成や展開の仕方に役立てる。(読むこと)</p>
8	<p>○自分の決めたテーマについて各自発表する。</p> <p>○発表を終えての感想を4~5人に聞き、本時の授業を振り返る。</p>	<p>・聞き手には評価シートを配付し、工夫していた点や構成の仕方について評価させる。</p> <p>◇多くの人の発表を聞き、評価することによって自分のものの見方や考え方を広くする。(読むこと)</p>

## 7 本時の目標と展開

### (1) 本時の目標

- ・他者の発表を聞き、自分の作成した文章と比較し、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

- ・テーマに沿った材料から文章を要約し、図表などを使い、わかりやすい構成や展開を工夫している。(読むこと カ)

(2) 本時の展開 (8時間扱いの7時間目)

時配	学習内容と活動	指導や支援の手立て (◇は評価)
5分	<p>○今までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。</p> <p>○前時まで作成したテーマ原稿とそれに伴う準備をする。</p>	<p>○評価するときの注意点やアドバイスの仕方を説明する。</p> <p>○訂正箇所があれば記入するため、ボールペンを用意することを伝える。</p>
<p><b>集めた材料をまとめ、わかりやすく伝えるように工夫しよう!</b></p>		
40分	<p>○各自テーマ原稿を用意し、グループ内で読み合い評価する。</p> <p><b>評価の仕方</b></p> <p>①自分の右の席の人に、「私が選んだテーマは○○です。評価をお願いします。」と言ってテーマ原稿を渡す。</p> <p>②受け取った人は5分で原稿を読み、5観点で評価し、アドバイスと改善点があれば記入する。</p> <p>③5分たったら右の人に「○○くん(さん)の選んだテーマは○○です評価をお願いします。」と言ってテーマ原稿を渡す。</p> <p>○全グループ、それぞれの評価が終了したら、同じグループ(班)の人が記入した評価を読み、アドバイスを参考にしながら、テーマ原稿を清書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価とは別に、誤字脱字や修正箇所があれば直接テーマ原稿に記入してよいことを伝える。</li> <li>・評価する際は、自分の作成したテーマ原稿と比較しながら読むように促す。</li> <li>・評価の観点は、             <ul style="list-style-type: none"> <li>①文章の構成(序論・本論・結論の分け方)</li> <li>②内容(わかりやすい語句や言い回し)</li> <li>③図表の使い方(内容との関連)</li> <li>④情報源(引用の明確さ)</li> </ul> </li> </ul> <p>以上の4観点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その際、良い部分を引き出し、清書につながるように評価しアドバイスを記入するように伝える。</li> </ul> <p>◇テーマに沿った内容が、わかりやく要約されている。</p> <p>◇図やグラフなどを使用し、内容がより伝わるように工夫されている。</p>
5分	<p>○本時の感想をテーマ原稿に記入し、4~5人の生徒に感想を聞く。</p>	<p>・本時の振り返りをし、評価してもらったテーマ原稿を確認し事後の学習に役立てる。</p>